

川と錦絵

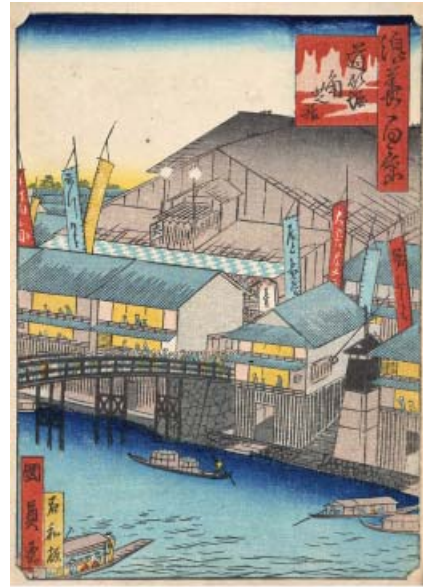
大阪の川は、町民の生活空間であるとともに、画家や文学者にとっても身近な存在であり、題材となるものでした。



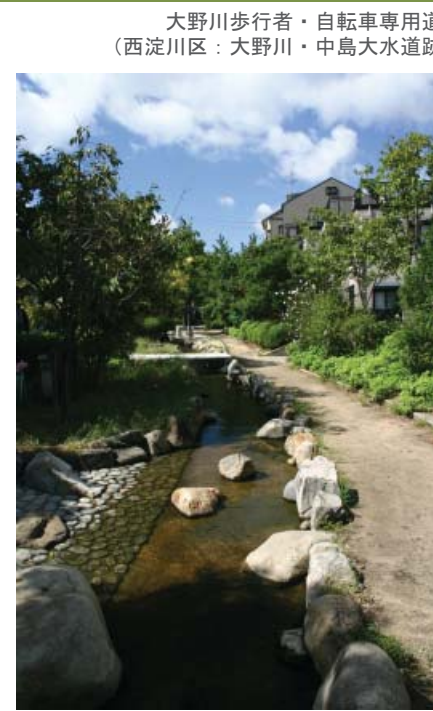
■天満ばし風景 歌川国貞画 (大阪府立中之島図書館所蔵)



■今橋つきぢの風景 歌川国貞画 (大阪府立中之島図書館所蔵)



■道頓堀角芝居 歌川国貞画 (大阪府立中之島図書館所蔵)



■楠根川跡緑陰歩道 (城東区)



■薩摩堀川跡 (西区)



■阿波堀川跡 (西区)



■長堀川跡のクリスタ長堀 (中央区)

大野川歩行者・自転車専用道 (西淀川区: 大野川・中島大水道跡)

川と文学

大阪の川は、古くは日本書紀に登場し、以後も元禄文学や現代において、数多く舞台や題材として取り上げられています。



■与謝蕪村(1716~1783)生誕地の碑と『春風馬堤曲』の句碑 (淀川河川公園毛馬堤防上)



■元禄文化を支えた文豪

左: 井原西鶴 (1642~1693)

右: 近松門左衛門 (1653~1724/誕生年は推定)



■八軒屋着船の図 歌川国貞画 (大阪府立中之島図書館所蔵)

八軒家は、数々の文学の舞台となっており、近松や西鶴の作品にも登場します。当時の八軒家は、京都に行き来する船の船着き場があり、昼夜を問わず賑わっていました。

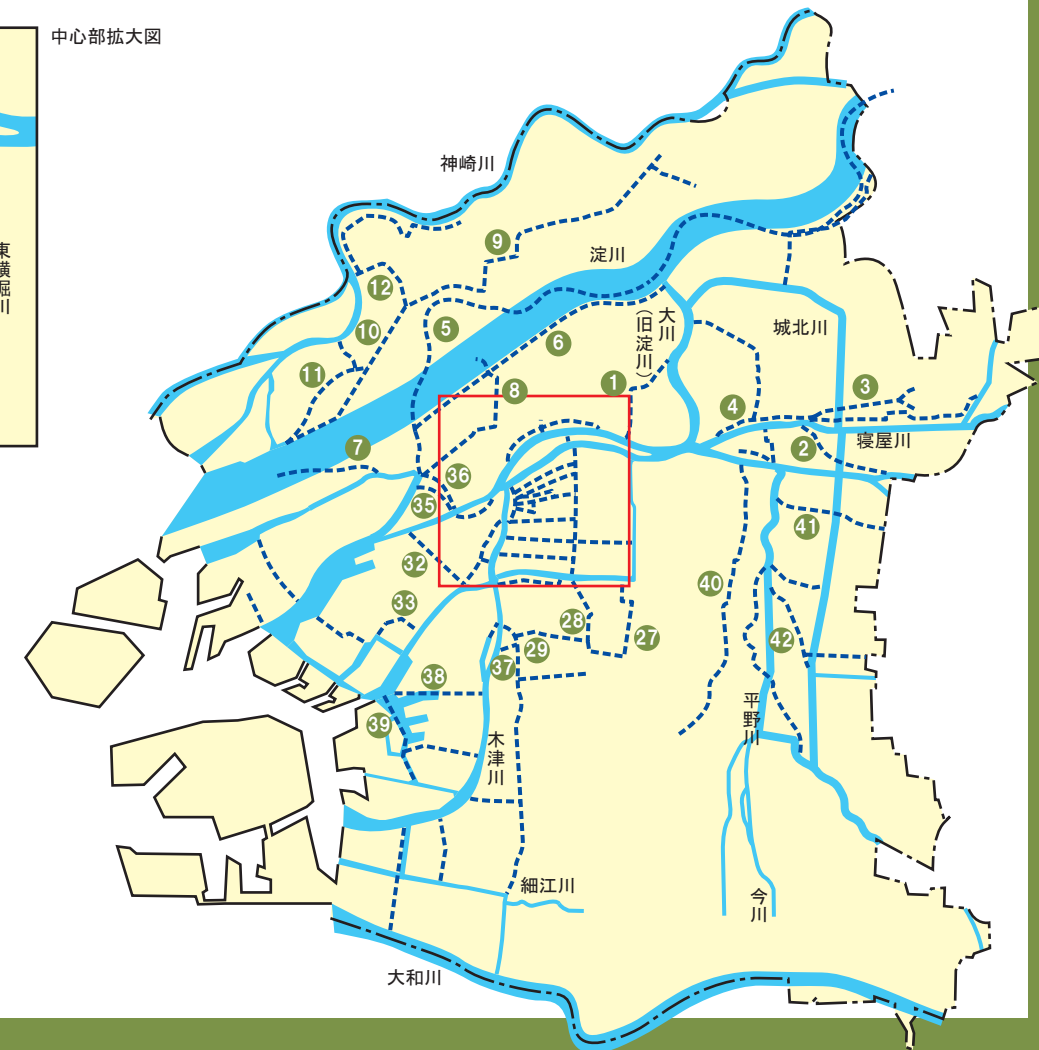
姿を変えて活躍する川

モータリゼーションの進展などにより、川の数は減りましたが、今でも姿を変えて身近なところで活躍しています。



中心部拡大図

- 1: 天満堀川
- 2: 楠根川
- 3: 三郷井路
- 4: 鯉江川
- 5: 中津川
- 6: 長柄運河 (中津運河)
- 7: 伝法川
- 8: 聖天川
- 9: 中島大水道
- 10: 中島水路
- 11: 大野川
- 12: 阪北水路
- 13: 西横堀川
- 14: 百間堀川
- 15: 江戸堀川
- 16: 京町堀川
- 17: 海部堀川
- 18: 阿波堀川
- 19: 薩摩堀川
- 20: 立売堀川
- 21: 長堀川
- 22: 堀江川
- 23: 桜川
- 24: 曾根崎川
- 25: 堂島堀割
- 26: 中之島堀割
- 27: 高津入堀川
- 28: 難波新川
- 29: 颯川
- 30: 旧尻無川
- 31: 松島堀割
- 32: 境川運河
- 33: 三ツ樋堀
- 34: 古川 (西区)
- 35: 逆川
- 36: 木場川
- 37: 七瀬川
- 38: 大正運河
- 39: 千歳運河
- 40: 猫間川
- 41: 千間川
- 42: 加美美川



川と映画

映画の世界でも、大阪の川を舞台とした作品が数多く制作されています。

上 ■『ぼんち』制作: 大映(角川映画株) 1960年 (主な舞台: 東横堀川) 監督: 市川崑 / 出演: 市川雷蔵、若尾文子、中村玉緒他

左下 ■『道頓堀川』制作: 松竹株 1982年 (主な舞台: 道頓堀川) 監督: 深作欣二 / 出演: 松坂慶子、真田広之、山崎努他

右下 ■『どてらい男』制作: 東宝株 1975年 (主な舞台: 中島水路跡遊歩道) 監督: 古沢憲吾 / 出演: 西郷輝彦、小柳ルミ子他

